

教育研究所だより

宮古島市立教育研究所
 指導主事 砂川 睦紀
 宮古島市平良字西里1140
 TEL 73-1104

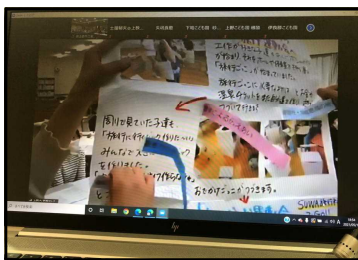
5月19日（水）に第1回「これからの保育と幼小接続を考えるセミナー」（上越教育大学学校教育実践研究センターと接続したオンラインセミナー）が開催されました。大学と接続したセミナーと聞いて、幼児教育について熟知していない者が参加していいのか不安でしたが、セミナーのちらしにあるとおり「ひざを交えて語り合う」といった様子そのもので、お互いの実践を子供たちの活動の様子（写真）をもとに語り合うスタイルの素敵なセミナーでした。

これからの保育と 幼小接続を考えるセミナー

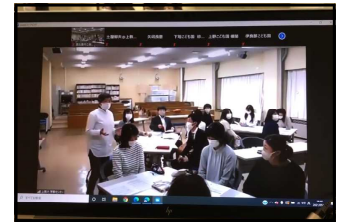
今回は、市役所総合庁舎2F大ホール会場で14名、下地・上野・伊良部の各こども園で18名合計32名の参加がありました。

「幼児期の終わりに育ててほしい10の姿」（このような視点があることも私は初めて知りました…。）についてのお話があり、それぞれの園での子供たちの活動の様子（写真）からどの姿が見とれるのかを語り合っていました。こちらが10の姿↓↓↓

10 の 姿	健康な心と体 	自立心 	協同性
	道徳性・規範意識の芽生え 	社会生活との関わり 	思考力の芽生え
	自然との関わり 生命尊重 	数量・図形・文字等への関心・感覚 	言葉による伝え合い



上越会場では、模造紙に貼付けた子供達の写真から担任が見取った「10の姿」の紹介がありました。



※宮古島会場の様子(左)と上越会場(右)の様子
 宮古島からは、奥平千里先生（北幼稚園）と濱川理恵先生、狩俣幸代先生（下地こども園）の2つの園から発表がありました。



※北幼稚園
←千里先生

※下地こども園
理恵先生→
幸代先生→



後半は、それぞれの園での子供たちの様子や課題になっている事などについて、お隣同士で情報交換がありました。会が終わっても話は尽きず…とても盛り上がっていました。



私自身、保育や幼稚園教育についてほとんど無知ですが、「保幼こ」の先生方がどんな視点で子供たちに関わり、実践に取り組んでいるのかや幼児期の関わりが小→中→高としっかりつながっていくんだなあととても勉強になりました。園の先生方、すごいです。